

纏(まとい)

- 《ポンプ車操法》
- ☆団体表彰
- 第1位 第3分団第1部1班(関)
 - 第3位 第5分団第3部(琴浦、両前寺)
 - 第3位 第6分団第1部(院内、小国)
 - 第3位 第3分団第2部(川袋、大砂川)
- 《規律訓練の部》
- 第1位 第2分団第3部(長岡、大森、水岡)
 - 第2位 第7分団第2部(畑、桂坂)
 - 第2位 第7分団第3部(百目木、立居地、樋ノ口)



- ☆個人表彰
- 指揮者・(川袋) 池田 勲
 1番員・(大竹) 今野和則
 2番員・(大竹) 須藤公明
 3番員・(小国) 横山大祐



平成24年度 にかほ市消防団消防訓練大会

7月8日、市消防団消防訓練大会が、消防庁舎前広場を会場に開催されました。応援にかけつけた地域の方や家族の声援を受け、出場隊は審査員や他チームの団員が見守る中、夏の暑さにもかかわらず、日頃の訓練の成果を披露しました。

技術と士気の高さを競った結果は次の通りです。(敬称略)

- 《総合表彰》
- 第1位 第2分団第3部2班(大森)
 - 第2位 第6分団第1部2班(小国)
 - 第3位 第7分団第2部1班(畑)

- 第2位 第6分団第1部1班(院内)
- ☆個人表彰
- 指揮者・(関) 倉田芳弘
- 1番員・(金浦元町) 伊藤将太
- 2番員・(院内) 佐藤貴哉
- 3番員・(関) 相馬一仁
- 4番員・(関) 横山英弥

- 《小型ポンプ操法》
- 第1位 第6分団第1部2班(小国)
 - 第2位 第4分団第2部1班(大竹)
 - 第2位 第3分団第2部1班(川袋)
 - 第3位 第3分団第3部2班(大須郷)
 - 第3位 第2分団第3部2班(大森)
 - 第3位 第7分団第2部1班(畑)



▶活発な意見交換
▲児童たちも真剣

「地震津波防災教室」

6月28日平沢小学校にて、女性消防団員による地震津波防災教室が開催されました。東日本大震災の教訓や現地の視察などの経験から「自分の身は自分で守る」自助の大切さ、「地震にあった時はどのような行動をとればよいか」などを子供たちに伝える為、約1年かけシナリオの作成、防災教室開催の練習を積んできました。その成果もあり、子供たちの真剣な眼差しは教室終了まで続き、多くの活発な意見交換も行われ、大成功となりました。

今後も、園児対象の「幼児防火教室」と並行して小学生対象の「地震津波防災教室」も随時開催していく予定です。

※地震津波防災教室で使用している紙芝居は、秋田県立仁賀保高等学校の生徒さんが作成しました。



松島町とにかほ市は夫婦町の締結から 25周年(銀婚)を迎えました

宮城県松島町との「絆」
きっかけとなった
十日会の活動

多くの夫婦町交流事業

宮城県松島町とにかほ市象潟は、古くから景勝地として並び称されており、俳聖松尾芭蕉の紀行文「おくのほそ道」でも「松嶋は笑ふが如く、象潟はうらむがごとし」と対比してつづられています。

また、鎌倉時代に象潟出身の谷が松島のすでに世界した小太郎に嫁ぎ、松島に残された小太郎の父母に孝養を尽くした紅蓮尼の物語が両地で語り伝えられています。



▶紅蓮の生家跡(現公会堂地内)にある紅蓮尼碑

昭和60年8月7日、旧象潟町の有志団体である十日会の会員9人が、当時の象潟町収入役の佐々木弥一さんと瑞巖寺比翼塚を訪れ、松島町収入役らの立ち会いのもとに、町の木であったネムの木を植栽し、同時に「芳躅を慕う」と彫った記念碑を建立し、未永く友好を深めたいと話し合われました。

このことがきっかけとなり、昭和62年8月1日、松島町と象潟町は全国で初めて夫婦町の盟約を結び、現在も交流が続いています。そして、今年夫婦町締結から25周年となり銀婚の祝いの年を迎えました。

これまで、議会や行政協力員、婦人会、青年グループや太鼓グループなど多くの人々が交流を積み重ねています。

現在、毎年行われている交流事業は、郷土学習の一環として、象潟小学校が修学旅行で松島を訪問しています。また、スポーツ少年団(野球、サッカー、バレーボール)でも相互交流を活発に行っており、ホームステイなどを通して友好関係を深めています。さらに、両市町のイベントへの参加交流も積極的に行っており、松島力キ祭りに「にかほ☆あげそば」を出店したり、道の駅象潟「ねむの丘」で行われる「おらほのグルメ祭り」には松島町から力キ料理を提供する団体が出店するなどし、教育・文化・

産業・観光などの幅広い分野で友情と親睦を深めています。

今年の4月からは、災害復旧のための職員を派遣しており、今後一層の親睦融和が図られます。



松島の朝焼け



象潟の夕焼け

松島・象潟夫婦町締結
25周年記念企画展

「おくのほそ道
松島と象潟」の開催

象潟郷土資料館では、銀婚を迎えたことを記念して、松島と象潟の深い「絆」を、両地の歴史や芭蕉を中心とする文人たちの記録あるいは作品から紹介しています。

今回は、松島博物館所蔵の「松島全図景彩色屏風」、瑞巖寺所蔵の「奥州松嶋一山之図」などの貴重な資料を展示しています。

期間
平成25年5月19日まで

入館料
一般150円
高校・大学生100円
小中学生50円

問合せ
象潟郷土資料館
☎43・2005